提案団体名: (株)ポリテック・エイディディ

〇提案内容

(1)自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)~(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の 技術の概要・実績等 分野 1)技術A 「音声ナビゲーションシステムを活用した誘導システム」 ●屋内での高精度なターン・バイ・ターンの音声によるルート案内を行う。 ターン・バイ・ターン:カーナビシステムのように分岐や交差点で、目的地に向かう道を矢 印や音声で示す方式 ●一般歩行者、車いす利用者、視覚障害者の方それぞれに適したルート案内を実現。 ●音声対応での目的地検索が可能。 ●健常者及び視覚障害者の皆様向けに音声による店舗や展示物等の説明を行う。 ●だれでもトイレ満室情報のご案内を行う。 <利用環境> ・アプリの導入が必要⇒iOS版は、AppStoreより専用アプリをダウンロード。 Android版は実証実験用のデモ機を用意 ・通信環境⇒ビーコン設置による相応のネットワーク環境が必要。スマートフォンのBlueto (1) oth機能をONにする。 (3) く実績> ・東京都中央区日本橋室町地区にて実証実験の実施(2018年2月8日~2月28日) ②技術B 「スマートフォンを活用した公園利用者数の把握」 ●公園内にスマートフォンの接近を感知するビーコンを配置し、公園の利用者数を把握する。 ●公園出入口、トイレ、主要な遊具等の複数箇所に配置することで、公園内の利用経路、頻度 等も把握する。 ●アプリのインストールが不要で、WiFiを使って(Bluetoothだけでなく)スマートフォンを把握す るシステムを活用することで、利用者の実数に近い数字が把握できる。 ●イベントへの来場者数の計測実績等あり。

(2)(1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙3の(ア)~(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の 分類
①技術A ●交通・モビリティ ・デッキ等の都市インフラから公益施設等内への連続した誘導・案内が可能。 ・庁舎、図書館等の公益施設内のバリアフリーな誘導及び案内による利便性、安全性の向上。 ●防災 ・非常時の避難経路の誘導案内による、誰(外国人、視覚障害者等)でも安全に避難できる環境づくり ・停電時に自分の位置がわかることによる、円滑な消防活動の実施。 ●観光・地域活性化 ・外国語版の作成による、外国観光客等への対応(トイレ、ナビ、授乳室等) ・デザインサイネージとの連動、店舗情報との連動による販売促進活動 ・歩行者ルート分析によるマーケッチング情報の提供	(ア) (ウ) (オ)

②技術B

「官民連携事業を推進し、公園をより利用される質の高い快適な空間と する」

- ●P-PFI等の活用により民間の力を活用した公園の整備、運営等が地方自治体において進められている。
- ●「官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム」においても多くの自治体がサウンディング調査に参加し、自らの公園への民間活力の導入、事業者とのマッチングを図っている。
- ●こうした民間活力の導入にあたって重要となるのが、事業の採算性であり、その判断基準の 大きな要素として、公園の利用者数がある。
- ●ただし、地方自治体において入場料の収受をしている公園以外に、個別の公園の利用者を 把握している例は多くなく、把握していたとしても数年あるいは年に1回のサンプル調査等に留 まっている。
- ●前述の「官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム」サウンディング調査においても、民間事業者から利用者数が分かっていないと対応可能性の判断ができないという意見があった。
- ●一方で、多くの公園を抱える自治体が、個別の公園の利用者数を把握するために調査等を 行うことは、手間と費用の面から難しいものがある。
- ●また、単純な利用者数だけではなく、利用者属性も含めたデータを収集できれば、より適切な事業の検討が可能になり、民間事業者の参画の可能性は高まるものと想定される。
- ●そのために、本提案は、公園の利用者数を自動的に継続して把握し、その利用者属性も把握可能なシステムを導入することで、各自治体の公園における民間事業者の官民連携事業への参画可能性を高め、公共資産の有効活用と賑わいの創出を図るものである。

(3) そ	0)他

〇部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
(株)ポリテック・エイディディ	日比野 真	03-6222-8912	hmakoto@polyadd.co.jp

(才)